

# 議会だより べっつかい

第114号

2025年8月



応援団長の熱いエールで盛り上がる西春別小学校運動会

## 特集

デジタル地域通貨OTOMONOをチェック … 2

「アレ」からどうなった？ 一般質問のその後…………… 4

我が町の財政 現状分析と未来への羅針盤…………… 6

へき地保育園 お弁当から給食へ…………… 7

一般質問(田村・中村・横田・高橋・市川・伊勢の6議員) …… 8

行政視察レポート……………11

議会活動アラカルト……………13

**連載** 「Let's go! 議会!」 <第2回>……………14

**シリーズおじゃましま〜す** 地域の想いが紡ぐ創作朗読劇……………16



北海道別海町議会

# 未来を作る若者の共に、友に、オトモノ交流 オトモノ OTOMONOをチェック

## 別海町限定 デジタル地域通貨

### 「OTOMONO」とは？

別海町内で使用可能なデジタル通貨です。

スマートフォンに専用アプリ「OTOMONO」をダウンロードし、アプリ内で通貨を管理。

支払いは、店頭での2次元コードを読み取り、キャッシュレス決済をします。



### ポイントの獲得手段は？

一定のウォーキング歩数でポイントをもらいます。

スマートフォンに「OTOMONO」アプリを入れて歩くとポイントが付与されるシステムです。

### ためたポイントは どこで使えるの？

アプリの中で、エリアごとや地図で、使える店舗がわかるようになっています。

最初は飲食店のスタートで、今後も店舗を増やしていく予定です。

## デジタル地域通貨がスタート

(8月以降の開始を予定しています)

予算決算審査特別委員会の質疑を経て、3971万円で可決された新事業「OTOMONO流通事業」が始まります。

質疑の答弁および総務産業常任委員会への報告内容をまとめました。

健康、地域経済の活性化および交流がどのようにつながっていくのかを検証します。

# 新規

## 若者交流支援事業

令和7年10月開始予定



### 目的

- ・若者居住満足度の向上と定住促進
- ・若者の活気で町のにぎわいを演出

### 対象

19歳になる年度から  
30歳になる年度末まで



### 内容

- ・毎月 10,000円分
  - ・毎週末 2,000円分
- 上記のデジタル地域通貨  
ポイントを付与

### 議会の目

町内の飲食店で食事をする人が増えるなど、地域のにぎわいを生む効果が期待される「デジタル地域通貨OTOMONO」。

ただし、利用が広がらなければ、取り組みの効果は限定的になります。

議会では、町民の声や周知の状況、申請の進捗などを注視しながら調査を続けていきます。

今後、行政サービスとの連携や制度の拡充がどのように図られるかも重要なポイントと考え、必要に応じて改善を求めています。



### どうして導入するの？

町内の店舗や事業者での消費を促進し、地域経済の活性化につなげます。

地域通貨は住民・事業者・行政が一体となり、「町ぐるみ」で未来の健康・経済を育てるために導入します。



### 飲食店がポイントを現金化するには？

1週間ごとに、入金される仕組みを取り入れています。

請求書の発行も必要ありません。



### 現金をチャージできるの？

今現在はできませんが、チャージ機能を追加できるよう体制の整備を進めているところです。

# 一般質問の

追跡

# その後

## 軟骨伝導イヤホンを導入

質問

(令和6年6月定例会)

難聴者への対策について

相談窓口での不便さや、聞こえづらさなど、問題を抱えている町民への対応として、「軟骨伝導イヤホン」の導入を考えてほしい。

答弁

「軟骨伝導イヤホン」はプライバシーを保てる特徴や利点があること、また聞き間違いや再説明が減ることで、スムーズなコミュニケーションが可能となる。今後、高齢者など利用の多い窓口を設置することを検討する。

## 移動式参拝仏具を準備

質問

(令和6年6月定例会)

合葬墓に関する町民の声は？

無縁供養之碑には、花立などが用意されているが、合葬墓にはありません。移動式でいいので用意することはできないか。

答弁

貸し出し用として管理棟に設置します。

設置



その後

令和7年6月25日



骨伝導集音器を介護支援課窓口  
に設置しました。  
併せて貸し出し  
の周知を行いました。

設置



その後

令和6年8月9日

移動式の花立・線香立・ろうそく立を  
設置しました。



# 「アレ」からどうなった？

過去の一般質問が、その後町政にどう生かされたのか追跡調査をしました。

## 漁業・漁村振興計画が策定！

質問

(令和5年6月定例会)  
持続的な水産業・漁業  
の確立を目指して

持続的な水産業・漁業の確立を目指した  
施策を推進するためには、別海町漁業・漁  
村振興計画(仮)の策定が必至と考えるが。

今後は水産業についても、中  
長期的な視点に立った漁業振  
興策の推進が必要と考えるの  
で、漁協など関係機関と十分協議の上、  
振興計画策定に向け、準備を進めたい。

答弁

## 補助上限、補助率の大幅拡充

質問

(令和5年6月定例会)  
地域活性化事業について

起業家支援事業補助金が策定されてから  
13年、その間見直し、検討は行われてい  
るのか。13年間で99件の利用があるが、  
枠組みに対する問題意識や課題を持って  
いるか。

対象事業の拡充など5回の改正、  
新規事業50万円→100万円。  
これまでの支援には一定  
の成果があったと考える。一方、昨今は  
起業形態の多様化が進み、空き店舗の利  
用につながっていない状況にある。

答弁

策定

令和7年3月



別海町漁業・漁  
村振興計画を策  
定しました。

その後

拡充

令和6年5月30日

新規開業区分上限額 500 万円、補助率  
2/3に拡充。対象事業や対象経費も拡充  
しました。

令和7年4月1日

空き店舗活用区分上  
限額800万円、補助率 2/3  
に拡充しました。



その後

# 総務産業常任委員会の活動報告

委員長 今西 和雄 副委員長 宮越 正人 委員 佐藤 初雄・戸田 憲悦・松原 政勝・小椋 哲也・高橋眞結美・市川 聖母

## 我が町の財政 現状分析と未来への羅針盤

### 持続可能な財政基盤構築へ

ここ数年、ふるさと応援寄附金が順調に推移しています。

今年度の一般会計予算の中でも、貴重な収入財源として大きな比率を占めています。

しかし、ふるさと応援寄附金は恒久的な収入源とはいえないため、今回、新たに設置された経営管理部による財政状況の分析が、重要な役割を果たします。

この分析は、第7次別海町総合計画に基づく事業推進の一環として、将来的な安定した財政運営につながることを期待されています。特に、セクターごとの経営分析を通じて、公共サービスの価値を見える化し、経常収支の改善に向けた具体策を、第8次別海町総合計画に反映させる方針には、高く評価します。

さらに、積み立てている基金の長期運用についても、国債などを利用した資金運用を検討していることは、限られたリソースを効率的に活用するために不可欠です。これにより、より良い財政運営が実現することが期待されます。

## 道を守り 暮らしを守る

### 町道などの維持管理体制を確認

冬季間に傷んだ町道の修復も完了し、通常の維持管理業務を行っています。

パトロール体制や補修体制など、事業者の人手不足など苦慮している部分もありますが、受託事業者を増やしたり、パトロール対象エリアを縮小するなど工夫し、万全な維持管理体制が整っています。

今後は、整備事業に関する内容を主とした調査を実施していきます。

特に、整備事業に係る予算の財源比率にも注目し、どのような財源にどれくらいの比率で依存しているかに注目し調査します。

何といたっても、町民生活と基盤産業のライフラインである町道整備は必要不可欠です。



根室中部3号主要幹線改良舗装工事

## まとめ

### 町民への周知

経営分析結果の、町民への周知は喫緊の課題です。

複雑な財政状況を分かりやすく伝えるためには、通常の広報活動に加えて、専門家によるコンテンツ作成など、工夫を凝らした情報発信が求められます。

委員会としては、今後も経営管理部から示される具体的な財政運営基準の推進状況や、基金の運用状況および町民への情報発信など、財政全般にわたり継続的な調査を行い、議論を深めていきます。

### 今後は整備事業へ

1200㎡に及ぶ町道の多くが、整備されてから半世紀以上経過しており、計画的に整備しています。まだ不十分です。

町費単独ではとうてい無理で、国や道の多種事業を活用しての対応が必要不可欠です。

整備事業を調査事項として、取り組んでいきます。

# 福祉文教常任委員会の活動報告

委員長 外山 浩司 副委員長 横田 保江 委員 中村 忠士・田村 秀男・貞宗 拓雄・伊勢 徹・吉田 和行

## へき地保育園 お弁当から給食へ

### へき地保育園でも給食スタート

本町には、保育所型認定こども園（別海・上西春別・中春別）が3園あり、自園調理や給食センターからの配送で、給食提供が行われています。

へき地保育園（上春別・西春別・上風連）の3園は、保管設備や配送などの関係から提供が遅れていましたが、今年4月から、給食提供がスタートしました。

町内の全ての保育施設で、給食提供が可能となり、提供体制の不均衡が解消され、保護者の負担が軽減されました。



5人でもりもり。楽しい給食（西春別へき地保育園）

## 高校支援で魅力の追求

### 寄宿施設等助成事業で 生徒の確保を

別海高校の生徒確保と、寄宿施設等設置者の経営安定化を図る目的で、平成30年にスタートし、今年で8年目になります。

町内をはじめ羅臼町、標津町、中標津町や浜中町、厚岸町、札幌市からの生徒が利用しています。

部屋は19室あり、令和5年度13人、令和6年度17人の入居者がいました。令和7年度は17人が入居し、保護者に対して月額6万円の助成をしています。



平日は3食提供される寄宿施設

## まとめ

### 保育サービスの充実に評価

へき地保育園ではお弁当を持参のため、給食提供体制に不均衡が生じていました。

しかし、保護者の願いと議員たちが提言してきた、へき地保育園の給食提供が今年4月からようやく始まりました。

子どもたちひとり一人が健康的な食生活を送られるとともに、子育て世帯の負担軽減が図られたことは、大変評価できます。

### 別海高校への支援策、間口維持につながる

寄宿施設等助成事業のほか、町では通学費助成、タブレット購入助成や部活動等派遣助成などの事業を行っています。

これらの事業で、普通科三間口の維持と、酪農経営科の入学生の増加につながるのか。

また、別海高校に進学したい魅力は何かなどについて、さらに調査を行っていきます。



## 議員6人による一般質問

### 質問 第二の「道の駅」構想を策定しては



たむらひでお  
**田村秀男**議員

また、館内改修には限界があるため、館外のスペースに、展望を兼ねたカフェ空間の整備を構想している。

**質問** 本町の西部地区で、年間26万人の自衛隊員が必ず通過し、加えて道東観光の拠点として最適な国道272号と243号の交点付近に、「まち」と「道の駅」が連携した異次元の「第二の道の駅構想」を提言するが、町長の見解は。

**答弁** 今、まちづくり全体の中で、道の駅構想も検討している。別海市街と、田村議員の指摘のあった国道272号と243号の交点、この2カ所について課題を整理して、できるだけ早い機会に結論を出したいと考えており、既に取り組んでいることをご理解してほしい。

今後も、レストラン部門ではスーパカレーの名店「らっきよ」とコラボして、本町の特産品のホタテをふんだんに使ったスーパカレーの提供や、地場産品の販売部門では町内の加工業者の協力で、メニューの追加をするなど、優れた人材を登用し、商品開発を進めていく。

### 質問 「パートナーシップ制度」導入の考えは



なかむらただし  
**中村忠士**議員

積極的な議論を展開していかねばならないと思っている。

**別海町の投票率は他町村と比べても低い、投票率向上の方策は？**

**質問** 同性婚を認めるべきだという世論が7割を超え、大きな変化が生まれている。本町でも「パートナーシップ制度」を導入すべきでは。

**答弁** 「LGBT理解増進法」が「性的指向やジェンダーアイデンティティを理由とする不当な差別はあってはならない」という基本理念を掲げた点は、人権尊重の推進において極めて重要な意義を持つ。「パートナーシップ制度導入に向けては、国や北海道の方針が示されてから判断していくが、先行する自治体の事例を研究し、プライバシー保護についても十分検討していく。

若年層の投票率向上対策として、小中学校の児童・生徒会選挙で、選挙管理委員会が所有する投票箱や記載台を貸し出している。別海高校には、選挙出前講座を実施している。また、生徒には、実際の投票事務、立会人などの体験や高校に投票所設置の検討・協議をしている。



詳細はこちらからご覧になれます

## 議員6人による一般質問

### 質問

# RSウイルス感染症の公費助成について



よこたやすえ  
横田保江議員

**質問** 健康寿命延伸のための肺炎対策について、現在実施しているか。

**答弁** 肺炎対策として、高齢者肺炎球菌ワクチン接種、総合健診を毎年実施している。

**質問** 肺炎予防の一環として、インフルエンザ、新型コロナウイルスとともにRSウイルス感染症についても、疾患の基本的な情報の周知と、高齢者への感染予防の注意喚起を行うことは、予防対策として有効では。

**答弁** 感染予防の取り組みは、インフルエンザワクチン

接種などの周知をし、同様にRSウイルスについても感染拡大防止のため注意喚起の必要がある。

**質問** 高齢者のRSウイルスワクチン感染症の発症予防効果は82・6%、特定基礎疾患などを併存する患者の有効率は94・6%と、効果は2年間持続。

しかし、接種費用は2万円以上と高額である。

**答弁** ワクチンの有効性は承知している。

自己負担も大きいですが、公費助成は今後の動向を注視し、他自治体の取り組みなどを考え、具体的な検討を進める。



### 質問

# 地球温暖化に向けて我が町のスケート文化を守るには



たかし まゆみ  
高橋眞結美議員

**質問** 本町のスケート文化の維持・継承をどのように考えているのか。

**答弁** 社会教育として取り組むようになってから60年以上、多くの関係者に支えられ、子どもたちの成長には欠かせないスポーツ文化の一つと認識している。

今後の施設の在り方を含め、次世代へ継承していく取り組みが大変必要と考える。

**質問** 町営スケートリンクを利用する小中学校の、令和6年度のスケート授業日数は。

**答弁** 気温上昇とリンクの経年劣化の影響で、小中学校合わせて8日。1回もできな

い学年もあつた。

過去3年間の小中学校合わせた授業日数は、令和3年度19日の利用で11日減、令和4年度は21日の利用で13日の減、令和5年度は15日の利用で7日の減。

**質問** 第7次別海町総合計画で、町営スケートリンク整備事業は、令和9年度に約6億円計上されているが、その内容は。

**答弁** 現在は、新設工事を予定した概算額としている。

**質問** 地球温暖化対策として、3カ月程度利用が可能なパイピングリンクを建設することで、近隣市町村からの利用を促進し、町の活性化につながるかと考えるが、見解を。

**答弁** 今後のスケートリンク、建設費、維持管理費など、将来を見据えて慎重に判断すべきと考える。



## 議員6人による一般質問

**質問** 西春別学区の通学バスの運行や通学体制はどうなる？



いちかわ まりあ  
市川聖母議員

**質問** 統合により通学距離が伸び、通学方法にも大きな影響が出るが、今後どのように見直しや調整をしていく予定か。

**答弁** 統合後の通学について、保護者やコミュニティ、スクールとの協議を通じて、スクールバスの経路や運行方法を見直していく。

**質問** 協議の対象となる保護者の範囲は。

**答弁** 現在は、西春別学区に在住する児童生徒の保護者を想定している。

今後、入学する児童生徒についても、必要に応じて対象に含め、丁寧に対応していく。

**動物保護  
町と民間団体との連携**

**質問** 「動物の愛護及び管理に関する法律」の趣旨を考えると、犬だけでなく、他の動物の保護活動も重要では。

**答弁** 本法律の趣旨から、犬に限らず保護活動は重要だと考えている。

野犬に関しては、野犬掃とう目的として対応しているが、保護が必要となる前に、飼い主に対して責任ある飼育を啓発している。

**質問** 町内で猫の保護活動に取り組んでいる民間の方を把握しているか。

**答弁** 把握している。ボランティアで活動されている方々に敬意を表する。法律の趣旨を踏まえて、猫の保護活動を理解し、相談があれば協力していきたい。

**質問** 本町の地域経済をより活性化するための取り組みは



いせ せいいち  
伊勢 徹議員

**質問** 今年度から実施されるデジタル地域通貨OTOM ONO流通事業の活用方法は。

**答弁** 地域の再生へと、果敢に挑戦する新たなまちづくりを目指す。

原資にはふるさと応援寄附金を充当するとともに、高齢者がデジタル対応に乗り遅れないような対策をする。

**質問** 町の特産や特色をかたどったオブジェやフォトスポットを制作し、さらなる観光資源や魅力づくりが可能だと思うが、町の見解は。

**答弁** 別海町観光協会が中心となって、商工観光課や、

地域おこし協力隊員と共に取り組んでいる。

現在、新たなフォトスポットとして野付半島ネイチャーセンターに打瀬舟オブジェの設置準備を進めている。

今後も、観光資源の発掘に努力する。

**質問** 別海パイロットスピリッツを通じて、人の流れの創出や、地元企業とのタイアップ、学校との交流など、地域内のつながりを強める施策などに発展させていくことが可能だと考えるが、町の見解は。

**答弁** 別海パイロットスピリッツがまちのシンボルとなるよう、町民の皆様と共に町もしっかりと応援して、地域内経済の発展につなげたい。

町営野球場については、硬式用として必要な整備を行っていく。

# 行政視察レポート

委員長 松原 政勝 副委員長 田村 秀男 委員 中村 忠士・今西 和雄・小椋 哲也・高橋眞結美・吉田 和行・市川 聖母

## 北海道町村議会議長会での調査

議員定数の決定要因	考えられる要因
①基礎的要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口規模</li> <li>・人口減少</li> <li>・財政規模</li> <li>・行政経費削減</li> </ul>
②環境要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会への関心度</li> <li>・投票率の低下</li> <li>・無投票および定数割れ</li> <li>・議員の待遇（報酬）</li> </ul>
③外部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣自治体の動向</li> <li>・類似団体との比較</li> </ul>
議員報酬の決定要因	考えられる要因
①算定根拠と環境要因には、全国の926町村議会を対象にしたアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣町村議会とのバランスを考慮</li> <li>・人口などの類似団体を参考</li> <li>・行政職員の給与を参考</li> <li>・新基準の原価方式</li> </ul>
政務活動費	交付状況
①全道で18町村が会派および議員に交付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会派および議員としての活動</li> <li>・調査研究活動</li> <li>・一人当たり平均月額1万2093円</li> </ul>

**議員定数・報酬額および  
政務活動費などを調査・研究**  
 議員定数等調査特別委員会

## 白老町議会での調査

	比較項目	別海町	白老町
町の比較	①人口	13,806人 (うち外国人612人)	14,824人 (うち外国人409人)
	②面積	1317.17km <sup>2</sup>	425.63km <sup>2</sup>
	③高齢化率	29.70%	47.60%
議会の比較	①議員定数	16名	14名
	②議員報酬	222,000円	207,000円
	③委員会数	2 常任委員会 議長を除く全員が 広報・広聴常任委員会 ・広報小委員会 ・広聴小委員会	2 常任委員会 議長を除く全員が 広報広聴常任委員会 ・広報小委員会 ・広聴分科会
	④定例会	3・6・9・12月	通年議会
	⑤移動常任委員会	なし	地域別開催
	⑥政策研究会	なし	議員で構成する 政策研究会
	⑦一般質問	答弁書の配布なし	答弁書の配布あり
	⑧出席状況の公表	なし	あり

6月24日と25日の日程で、行政視察を行いました。北海道町村議会議長会の勢旗了三参与から、「全道町村議会の実態」を、白老町議会の小西秀延議長と佐藤雄大議会運営委員長から、「類似団体の議会改革先進地」としてお話をいただきました。2日間の実態調査で、新鮮で斬新な取り組みなどを目の当たりにしました。これからの議員定数・報酬および政務活動費などの方向性を決定する議論に、有意義な調査・研究となりました。

## 月形町と石狩市へ 行ってききました

総務産業常任委員会

### 月形町

新たに開業した道の駅「275つきがた」および、改修された宿泊施設「月形温泉ゆりかご」の運営状況に関するヒアリングと施設見学をしました。

大規模改修の費用、経営状況および利用状況や稼働率ならびに指定管理者制度による運営評価などについて詳細な情報を収集してきました。



温泉隣接の直売所で人気の地場産品

特に、予算配分や利用状況

に応じた工夫を凝らし、旧施設を生かした取り組みが丁寧

に計画されていると感じました。

キャンプ場や運動施設など周辺環境が類似している別海町において、大変参考になりました。



月形町での交流を終えて皆さんと

### 石狩市

7月8日開催の北海道町村議会議員研修会に参加してきました。

併せて、7月9日は月形町温泉施設の運営状況、7月10日は石狩市を訪問し、独立リーグ球団を通じた地域活性化の取り組みについて、行政視察を行いました。

石狩市は、独立リーグ球団「石狩レッドフェニックス」と包括連携協定を締結。

地域の資源を生かし、スポーツ振興や子どもの育成を通じて、地域社会を元気にする取り組みを進めています。

球団設立から3年にわたる地域貢献を通じて、市との信頼関係が深まり、協定締結に至ったとのこと。

連携内容としては、市民や企業および教育現場との関わりを継続し、地域に根差したプロスポーツの育成支援を通じて、移住・定住促進や産業振興とスポーツの相乗効果を目指しています。

別海パイロットスピリッツも、同様に町民のムードや空気を醸成していくことが、

地域に密着した活動につながると考えられます。

本視察を通じて、プロスポーツチームと連携した地域活性化の可能性や、住民の機運を高める活動の重要性について学ぶ機会となりました。



石狩市の議場で記念の1枚

# 議会活動アラカルト



4月10日  
**四万十州市制施行  
 20周年記念式典**  
 西原 浩 議長  
 入倉 伸 顕 局長

本町と友好都市である高知県四万十市の「しまんとぴあ」(四万十市総合文化センター)で開催された記念式典に参加してきました。

表彰のほか、アトラクションとして記念映像の上映や船上結婚式寄附受納式が行われました。

また、小学生による合唱や中学生による書道のパフォーマンスで盛り上がりました。

本式典を通して、四万十市の歴史や文化をはじめ、市民の郷土愛が伝わる素晴らしい式典でした。

5月31日  
**東京・別海  
 「ふるさと」会総会**  
 西原 浩 議長

東京・別海ふるさと会の第30回総会がメトロポリタン池袋(東京)で開催されました。

参加人数は、会員58人、別海町関係者、友好企業関係者および友好ふるさと会関係者45人の合計103人と盛大でありました。

臼井会長から設立30年の歩みを振り返り、挨拶がありました。

(株)吉池の高橋会長は、第1回から欠かさず参加されているとのことでした。

東京・別海ふるさと会は、北海道産直フェアに応援、また別海高校野球部の甲子園出場時には寄付をいただき、現地にも応援に駆け付けてくださったことに、議会議長として感謝の意を申し上げます。

総会終了後の懇親会では、別海町特産品の抽選会もあり、大変盛り上がりを見せ終了しました。

## 議会事務局の職員は、議会の円滑な運営を支える重要な役割を担っています

現在、事務局には局長、主幹、主任、パート職員の4人が勤務しています。  
 主な業務は次のとおりです。

### 議会の組織事務処理

#### 予算、決算

議会事務局の予算編成、執行管理、決算報告など

#### 人事、給与

議会事務局職員の人事管理、議員報酬の支出など

#### 文書管理

公文書の作成、受付、発送、保管など

### 議員活動の支援

#### 資料作成支援

調査資料の収集、データ分析、統計資料作成など

### 議会運営の補助

#### 本会議・委員会の準備運営

議事日程の作成、会議資料の準備、議場の設営、議事録の作成など



**いつもお世話になり  
 ありがとうございます**

議会事務局職員には、政治的中立性を保ち、公平な立場で業務を遂行する資質が求められます。さらに、重要な公務を担う責任感と高い倫理観が必要です。



# Let's go! <sup>レッツゴー!</sup> 議会!

今回のテーマは、「会議」。会議って、本会議といわれる定例会だけではありません。あまり知る機会のない会議を紹介したいと思います。

Q

会議って定例会だけじゃないの？

A

実は、いろいろな会議があるんです！

## 定例会

年4回開かれる議会の中心的な会議です。予算や条例など重要な議案を審議・決定します。

## 臨時会

急ぎの議案があるときに開かれる臨時の会議です。必要に応じて開催されます。

## 常任委員会

総務産業常任委員会と福祉文教常任委員会は、本会議の議案を下審査するために議論・調査する会議です。このほかに、広報・広聴常任委員会があり、議員活動の基本である広報活動・広聴活動を行います。

## 特別委員会

特定の課題について、期間を限って調査や議論を行うための会議です。

## 議会運営委員会

本会議や委員会の進め方・日程を調整し、議会全体をスムーズに運営するための会議です。

## 全員協議会

全ての議員が集まり、重要事項や、本会議での提案議案の概要説明など、情報共有や協議・調整を行う会議です。

## 議員間討議

議員間の協議や調整を行う会議です。

## 課題共有会議

議員・理事者・職員間の行政課題について、協議や調整を行う会議です。

## 一般質問検討会議

一般質問の磨き上げなどについて協議や調整を行う会議です。

## 正副議長会議

議長と副議長が、議会運営全般について協議や調整を行う会議です。

## 正副委員長会議

常任委員会および特別委員会運営について協議や調整を行う会議です。

## 委員会協議会

常任委員会、特別委員会の担当事項について、調査や審査の論点、争点の整理や協議を行う会議です。

これが  
ホンネ!

一期生3年目 **高橋真結美議員** に聞いてみました!!

Q

議会の面白さとは？

A

一町民の時は、ヘン！変！って思ってもぼやくだけでした。議会には決定権があるんです。過半数の議員が「こうあるべきなんじゃないの」と動けば変えられるんです。素朴な違和感が大事です。一町民の感覚が必要です。やってみない？議員！面白いかも。



# 「議員って、なにしてるの？」

**密着!!**

## 意外と多い? A 議員のリアルスケジュール

議員の仕事と聞いても、具体的な内容はあまり知られていないかもしれません。今回は、議員が普段どのような活動をしているのかを、2カ月のスケジュールを通じてご紹介します。この機会に、議員の仕事への理解を深めていただければ幸いです。



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1 一般質問の調査	2 一般質問の調査	3 <b>憲法記念日</b> 一般質問の調査
4 <b>みどりの日</b> 一般質問の調査	5 <b>こどもの日</b> 子どもとお出かけ	6 <b>振替休日</b> 	7 一般質問 通告書作成	8 一般質問 通告書作成	9 一般質問 通告書作成	10 一般質問 通告書作成 
11 一般質問通告 仮締切	12	13 	14 子どもの参観日	15	16 一般質問検討会議	17 
18	19 臨時議会	20 商工会總會	21 常任委員会	22 議会運営委員会	23 特別委員会	24 
25 地元地域の交流会 一般質問に関連する 現地調査	26 地域の学校での会議	27 学校の環境整備 (PTA 活動)	28 	29	30 地元商工会總會 & 懇親会	31

一般質問のための  
下準備をコツコツ

議員同士、法政大学の  
教授からもたくさんの  
アドバイスが飛び交う!



1	2	3	4 議会運営委員会	5	6 全員協議会 議員間討議	7 地元小学校運動会
8	9 定例会	10 定例会 休会	11 定例会 休会	12 定例会 (一般質問) 	13 定例会 休会 (予算決算審査特別委員会)	14 定例会 休会 別海町植樹祭
15 定例会 休会	16 定例会 休会 (常任委員会)	17 定例会	18	20	21	
22 	23 議会だより原稿作成	24 特別委員会 視察	25 視察	26 視察 議会だより原稿作成 	27 議会だより原稿作成	28
29 自衛隊記念式典	30 議会だより原稿締切					

定例会の最終調整  
細かいところまで  
チェック

来賓として出席  
子どもたちの元気な姿に  
感激!

町外へ委員会での現地視察  
現場での視察は目から  
ウロコが多い!

定例会が終わったら  
議会だよりの  
原稿の準備

式典に来賓として出席  
素晴らしい訓練展示に  
感激!

## 「100年後の子どもたちへ」—地域の想いが紡ぐ創作朗読劇

地域で活動している団体や職場などにお伺いして、活動の内容や想いをお聞きするコーナーです。今回は、中西別で活動する「イエローハウス」におじゃましました。

この舞台の会場となった「イエローハウス」は、中西別の民部彰さんが中心となって活動を続けてきた地域の文化拠点です。もともとは、地域の文化祭で展示された住民の作品を、一時的なイベントだけでなく、継続して鑑賞できるように残したいという想いからスタートした活動でした。「イエローハウス」という名称は、自宅横に建てられた黄色い建物にちなんで自然と定着していきま

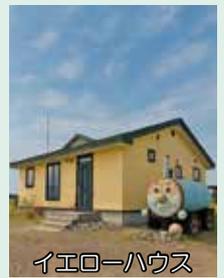


更屋さん

「開拓者は、暴れ出した馬に蹴られ、激しく後ろに投げ出された——」  
中西別のイエローハウスD型倉庫に、更屋富美恵さんの朗々とした声が響き渡ります。朗読劇「中西別100年ビジョン創作劇『100』未来の子供たちへ」の冒頭の一節です。

そんな中で、中西別の大きな転機となったのが、幼小中学校の閉校でした。学校を中心に形成されてきた地域コミュニティが、100年という時間のなかで積み重ねてきた歴史。その中核が失われる現実、これからの「中西別の100年」をどう描いていくのかという課題が浮かび上がったのです。

作品の展示保管にとどまらず、地域の食文化を楽しむ会や、子どもたちへ昔話や開拓の歴史を語り継ぐ活動も行われています。民部さんは、こうした取り組みを通じて、イエローハウスを地域文化の創造の拠点として、お年寄りから子どもまで誰もが集える場へと育ててきました。



イエローハウス

そして、閉園が目前に迫った中西別幼稚園を訪れた際、園児たちに紙芝居の読み聞かせをしていた更屋さんと出会いました。更屋さんの朗読は、子どもたちを物語の世界に引き込み、時に歌を交えながら笑顔にしていく力を持っていました。その表現力を目の当たりにした岸本さんは、「これだ」と直感し、脚本の執筆を始めます。そうして生まれたのが、「中西別100年ビジョン創作劇『100』未来の子供たちへ」でした。



更屋さんと岸本さん

そんな時、地域おこし協力隊の岸本光央さんとの出会いが生まれます。岸本さんは、民部さんとの交流を通じて、中西別の地域に深く関わるようになりしました。開拓の歴史や酪農の現状を知る中で、自分にもできることがあるのではないかと感じ始めたそうです。

取材中、民部さんは静かに、けれど力強くこう語ってくださいました。「学校はなくなってしまったけれど、別な形で、子どもも大人もお年寄りも、また集まれる場をつくってほしい」  
その言葉の奥にある深い覚悟と希望に、強く心を動かされました。この地域の営みの中に、静かだけれど確かな未来への歩みを感じました。



民部さん

「先人たちは、何を想い、どんな苦勞を乗り越えてきたのか。そして私たちは、これから何を想い、未来を紡いでいくのか」  
民部さん、岸本さん、更屋さん——この3人の出会いが生み出した、地域の歴史と未来をつなぐ文化作品は、開拓の時代に生きた先人たちの想いを、現代を生きる私たちに問いかけてくれます。

令和7年第3回定例会は  
**9月8日(月)～9月12日(金)**  
を予定しています



別海町議会  
YouTubeチャンネル



**一般質問の傍聴にきてみませんか？**

一般質問日

**9月9日(火)・10日(水) 予定**

お待ちしております!!